

教科名(家庭)

鵬DP評価表(教科用)		評価基準				
	鵬DPとその定義 点 数	S(応用) 5点	A(つながり) 4点	B(考え) 2点	C(入口) 1点	合計
DP	再認識力	学習によって得た知識や技術を、実習や実際の生活の中で生かし、実践することができる。	学習した内容と生活とを結びつけ、得た知識や技術をどのように生かすか考えることができる。	学習した内容を思い出し、自分自身の生活を振り返ることができる。	学習した内容を思い出すことができる。	
定義	・考えたり、振り返ったりできたり、得た知識や技能を応用できる力					
DP	情報収集力	真偽や根拠を明らかにした複数の情報の中から、必要な情報を取捨選択することができる。	複数の情報を収集し、真偽や根拠を明らかにすることができる。	信頼できる情報元を見極めて情報を収集することができる。	書籍やインターネット等を用いて情報を収集することができる。	
定義	・調べるための手段や対象を適切に設定できる力					
DP	問題発見力	設定した課題を解決するために必要な具体策を考えることができる。	問題点を明確にし、問題解決のために必要な課題設定を行うことができる。	日常生活の問題点に気付くことができる。	問題意識を持って、日常生活を見つめ直すことができる。	
定義	・課題を的確にとらえたり、捉えた課題から新たな視点や発見ができる力					
DP	分析力	複数のデータの分析結果から、現状や課題について論理的に思考するとともに、その根拠を明確にすることができる。	複数のデータの分析結果から、現状や課題について論理的に思考することができる。	複数のデータの特徴を的確に捉え、分析することができる。	図表や資料などのデータを正確に読み取ることができる。	
定義	・論理的に思考できたり、データの特徴を的確にとらえることができる力					
DP	共感力	自分と他者の意見を総合し、新たな発想をすることができる。	自分と他者の意見の類似点や相違点について考え、自らの考えを深めることができる。	他者の意見だけではなく、その背景にあるものを理解することができる。	他者の意見を理解することができる。	
定義	・自分の意見を主張するだけでなく他者の意見や感情を理解することができ、さらにいろいろな意見を総合してよりよいものを想像することができる力					
DP	表現実行力	適切な表現手段を選択し、自らの考えを論理的に述べるとともに、質問や意見に対しても論理的に説明することができる。	適切な表現手段を選択し、自らの考えを論理的に述べることができる。	適切な表現手段を選択し、自らの考えを他者へ伝えることができる。	対話を通して自らの考えを他者へ伝えることができる。	
定義	・物事を他者に伝えられたり、実際に行動につなげる力					